

佐藤 純子（さとう じゅんこ）

1980年1月から2008年4月までニューヨークの国連本部勤務。広報局ダグ・ハマーショルド図書館で、国連文書データベースのコンテンツ管理部門や国連図書館出版物の編集の仕事に従事。2002年から2008年の定年退職までは、文書管理部門の課長として、蔵書管理、国連文書データベースのコンテンツ管理、図書館の予算・会計や人事に責任を持った。在職中からいろいろな大学で国連、国際公務員、国連文書についての集中講義や特別講義を行った。国連定年退職後は、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科の非常勤講師として、国連機構と文書、国連でのリサーチ・スキルについての講座や、国際公務員になるためのキャリア・コースを受け持ち、2019年3月早稲田大学を定年退職。

2015年：平成27年度外務大臣表彰

（さまざまな大学で国連の諸活動に関する講演を通じ、国連職員を目指す若者の育成に積極的に取り組み、国連における邦人職員増強に貢献、後進育成に寄与）

2012 - 現在、AFICS-Japan (Association of Former International Civil Servants-Japan : 国連システム元国際公務員日本協会)執行委員、2020年から副会長。

2017年4月 - 2021年3月、国際的な人権団体アムネスティ・インターナショナルの日本支部（アンネスティ・インターナショナル日本）理事、2019年4月 - 2021年3月、副理事長(国際担当)。

東京女子大学文理学部史学科（アメリカ史専攻）卒業。米国ロングアイランド大学、パーマー図書館大学院で図書館学の修士号を取得。